



グリーンスローモビリティ 実証事業の実施について

花のまち恵庭で、オープンガーデンなどを巡る新しいガーデンツアーの形
～電動カートが運ぶ、暮らしにふれる観光体験～

令和8年（2026年）6月



実施主体
恵庭市



担当部署
経済部花と緑・観光課



実施期間
令和8年（2026年）6月-8月

❶ 来訪者には新しい観光体験を、住民には安心とゆとりを。

グリーンスローモビリティとは

時速20km未満で公道走行が可能な電動カート



時速20km未満で走る電動カート
ゆっくりだからこそ見える景色、感じる風、生まれる会話
移動そのものが観光体験になる、新しいモビリティです



時速20km未満で公道走行可能



開放感

風と香りに包まれる
オープンエアの移動体験



✓ 自然を身近に感じる



対 話

同乗者やガイドとの会話が自
然に生まれる



✓ グループで楽しめる



発 見

ゆっくり走るからこそ気づく、
街の小さな魅力



✓ 新しい発見がある



写真提供: ヤマハ発動機株式会社

ヤマハ発動機のグリーンスローモビリティ

※時速20km未満で公道走行可能



環境に優しい電動カートで、持続可能な観光体験を提供



事業の背景（課題）

全国的なガーデニング人口の減少、花のまちづくりの担い手の高齢化・不足、一部観光客のマナー違反

環境変化



ガーデニング人口減少 （全国課題）

- 参加人口が半減:15年で46.8%減(3,720万人→1,980万人)
- 市場の縮小:園芸市場全体の需要が低下傾向
- 担い手の高齢化:次世代への継承が困難な構造へ

15年で 46.8% 減少

※出典：公益財団法人日本生産性本部「レジャー白書2024」より作成

担い手の変化



高齢化の進行（恵庭市の現状）

- 高齢化の加速:高齢化率
→現在約28.7%,2050年には41%超へ
- 負担の増大:維持管理に伴う身体的な負担増
- 管理の限界:個人宅の庭づくり継続が困難な状況

↑ 2050年に 約 41 % へ

出典:恵庭市第9期恵庭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(2024年3月発行)
※元データは「国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」に基づく

維持の困難さ



観光マナー問題（恵庭市の現状）

- 頻発するトラブル:無断立入、植物への接触・破損
- 精神的負担:高齢庭主の対人対応 → 心理的ストレス
- 公開の断念:トラブルへの不安、活動維持の危機

マナー違反 増加傾向



解決策：ガイド付き限定ツアーへのシフト

ガイド付きでしか見ることができない限定ツアーにすることで、安全面・精神面の負担を軽減しながら、観光体験の質を向上させます。



✓ 安全確保

✓ 負担軽減



観光体験の質向上と住民負担軽減を両立させる新しいアプローチ



導入事例

北海道登別市（オニスロ）と京都府和束町（グーチャモ）の成功事例



NOBORIBETSU GREEN SLOW MOBILITY オニスロ
北海道登別市



🎯 目的

- ・脱炭素化、温泉街の周遊促進、歩行者の安全確保

★ 特徴

- ・ルート周遊バス、ただし停留所はなく、どこでも乗れてどこでも降りられる
- ・無料運行実績あり

✓ 一般社団法人登別国際観光コンベンション協会が導入・運営

200円／人・回



グリーンスローモビリティ グーチャモ
京都府和束町



🎯 目的

- ・茶畑景観を活かした観光振興

★ 特徴

- ・発着地が同じ観光ツアー
- ・茶のお土産、記念乗車証付き

✓ 和束町が導入、運営は同町地域力推進協議会

1,000円／人・回

❗ 他地域の成功事例を参考に、恵庭市の実証事業を展開

📅 実証事業の概要

📅 運行期間・時間・申込方法

運行期間： 令和8年（2026年）
6月27日（土）～8月23日（日）

コース： 花の拠点 はなふる 発着のガーデンめぐり

定員： 1便5名（事前予約制）

運行便： 平日＝1日1便／金・土・日・祝＝1日2便

料金： おとな 3,000円
中・高校生 1,500円
小学生以下 無料

申込・支払： 運行3営業日前までに申込（電子申請・電話）
当日現地払い（現金）

運行可否： 小雨決行（荒天時は運休）



写真提供: ヤマハ発動機株式会社

📌 6月27日から8月23日まで、計58日間の実証運行。事前予約制・1便5名限定の特別なガーデンツアーをお届けします。



運行ルート詳細

道路の混雑状況に応じて、実際のルートは一部変更となる場合があります。



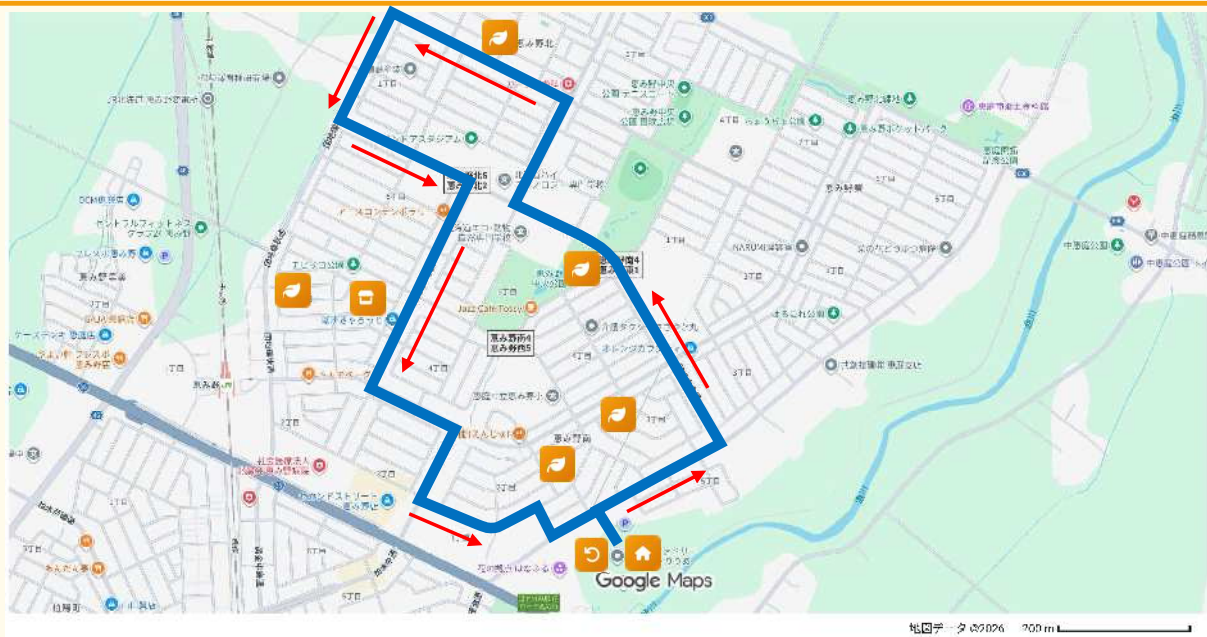
運行ルートマップ



所要時間: 2時間



定員: 5名



はなふる（出発）

恵庭ガーデンツーリズム構成庭園①



まちなかガーデン

恵庭ガーデンツーリズム構成庭園④



ガーデンギャラリー
（恵み野商店会）

恵庭ガーデンツーリズム構成庭園②



はなふる（到着）

恵庭ガーデンツーリズム構成庭園①

■ 運行ルート

花の拠点のはなふる発着 → 恵庭ガーデンツーリズム構成庭園・まちなかガーデン・ガーデンギャラリー（恵み野商店会）等を巡回

※道路の混雑状況により、ルートが一部変更となる場合があります

6月27日（土）・28日（日）は
恵庭花とくらし展特別コース
1,000円

※おとな、中・高校生、小学生以下の区分なし（同額）、ドリンクなし

6月27日（土）①10時30分 出発ー12時00分 到着

6月28日（日）①10時30分 出発ー12時00分 到着

②13時00分 出発ー14時30分 到着



運行詳細



運行期間 6月27日～8月23日



料金 おとな 3,000円 中・高校生 1,500円
小学生以下 無料



運行スケジュール

曜日	午前便 10:00～12:00	午後便 13:30～15:30
月・水	●	—
火・木	—	●
金・土・ 日・祝	●	●

庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム）

花と暮らす恵庭の花めぐり

（恵庭ガーデンツーリズム協議会）

まちを歩けばその先々で花に迎えられ、
花が人々との出会いを紡ぐ
そんな探訪型のツーリズム



① 花の拠点から、暮らしの庭へ 恵庭の魅力を深く味わうコース設計



事業の将来性・展望

新しい観光体験の創出と地域活性化への期待



はなふる内回遊ライトツアー

施設内での体験型ツアー

検 討



施設内を巡るライトツアー



所要時間：60分程度



スマホARアプリ・音声ガイド

デジタル技術による体験向上

検 討



ARによる花の情報表示



音声ガイドによる解説

AR技術

音声認識

GPS連動



💡 実証事業から見据える、次の一手

✓ まとめ

実証事業の期待効果と恵庭の花のまちづくりへの活用

実証事業で期待できる効果



新しい観光価値の創出

移動体験そのものが観光コンテンツとなり、恵庭の魅力を再発見できる新しい観光価値を創出



地域経済への波及効果

観光消費額の増加、雇用創出、地域事業者との連携による経済活性化



オープンガーデンの持続可能性向上

住民負担の軽減と安全確保により、オープンガーデン活動の継続性を向上



来訪者満足度向上とリピーター創出

質の高い体験提供により、来訪者満足度向上とリピーター創出を実現



恵庭の花のまちづくりへの活用



ガイド付きツアーモデルの確立と横展開

成功事例を基に、他地域への展開可能なモデルを構築



花のまちブランドの強化と差別化

花のまち恵庭のブランド価値を高め、差別化を図る



持続可能な観光まちづくりへの発展

環境負荷低減と地域資源の循環的利用を実現



地域資源を活かした体験型観光の推進

花・ガーデン・自然を活かした体験型観光を展開